

## 都市ガス 家庭用選択約款料金のお知らせ

日頃より沖縄ガスをご愛顧頂き誠にありがとうございます。この料金は家庭用として、**厨房機器と風呂・給湯にエコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)を使用する需要**で、お客さまがこの約款の適用を希望される場合に適用されます。

さて、標記について、**令和7年12月～令和8年2月**の検針分の基準単位料金及び調整単位料金は下記の通りとなっておりますのでお知らせ致します。

供給ガス種: 13A

熱量: 43.5MJ

原料費調整額[税込]: + 35.72円

令和7年12月分		基本料金[税込] (1ヶ月あたり)	調整単位料金[税込] ※① (1m <sup>3</sup> あたり)	基準単位料金[税込] (1m <sup>3</sup> あたり)
A 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	258.63 円	222.91 円
B 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> を超え 14m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	256.88 円	221.16 円
C 料金	1ヶ月の使用量 14m <sup>3</sup> を超え 20m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	249.18 円	213.46 円
D 料金	1ヶ月の使用量 20m <sup>3</sup> を超え 27m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	240.36 円	204.64 円
E 料金	1ヶ月の使用量 27m <sup>3</sup> を超える場合	880.00 円	233.72 円	198.00 円

※①、調整単位料金(計算後、小数点第3位以下切り捨て) = 基準単位料金 + 原料費調整額

供給ガス種: 13A

熱量: 43.5MJ

原料費調整額[税込]: + 35.11円

令和8年1月分		基本料金[税込] (1ヶ月あたり)	調整単位料金[税込] ※① (1m <sup>3</sup> あたり)	基準単位料金[税込] (1m <sup>3</sup> あたり)
A 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	258.02 円	222.91 円
B 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> を超え 14m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	256.27 円	221.16 円
C 料金	1ヶ月の使用量 14m <sup>3</sup> を超え 20m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	248.57 円	213.46 円
D 料金	1ヶ月の使用量 20m <sup>3</sup> を超え 27m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	239.75 円	204.64 円
E 料金	1ヶ月の使用量 27m <sup>3</sup> を超える場合	880.00 円	233.11 円	198.00 円

※①、調整単位料金(計算後、小数点第3位以下切り捨て) = 基準単位料金 + 原料費調整額

政府の支援により、通常算定される原料費調整単価 35.11円より 18.0円値引きされてます。

供給ガス種: 13A

熱量: 43.5MJ

原料費調整額[税込]: + 17.11円

令和8年2月分		基本料金[税込] (1ヶ月あたり)	調整単位料金[税込] ※① (1m <sup>3</sup> あたり)	基準単位料金[税込] (1m <sup>3</sup> あたり)
A 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	240.02 円	222.91 円
B 料金	1ヶ月の使用量 8m <sup>3</sup> を超え 14m <sup>3</sup> までの場合	834.90 円	238.27 円	221.16 円
C 料金	1ヶ月の使用量 14m <sup>3</sup> を超え 20m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	230.57 円	213.46 円
D 料金	1ヶ月の使用量 20m <sup>3</sup> を超え 27m <sup>3</sup> までの場合	880.00 円	221.75 円	204.64 円
E 料金	1ヶ月の使用量 27m <sup>3</sup> を超える場合	880.00 円	215.11 円	198.00 円

※①、調整単位料金(計算後、小数点第3位以下切り捨て) = 基準単位料金 + 原料費調整額

### \* エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)とは

エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)とは、エネルギー源としてガスを使用し、潜熱(ガスの燃焼により生じる水蒸気に含まれる熱エネルギーをいいます。)を回収するための熱交換器を備え、給湯熱効率が90%以上であるガス給湯器のことをいいます。

従来のガス給湯器よりも10%～15%も高効率なため、ガスの使用量が抑えられ、二酸化炭素排出量の低減にもつながります。